

電動コンクリートスクリード HG-ECS18V150 クイックガイド

初版

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「**死亡または重症を負う恐れがある**」内容です。



注意

この表示の欄は、「**軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある**」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドと WEB 取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
WEB 取説を
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

警告（製品に係る安全事項）



禁止

本機はコンクリートを平らにならし、レベル調整する事を目的とした機械です。指定された用途以外には使用しないでください。

正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。

未成年者の単独使用は禁止です。保護者等の監督下で作業してください。

成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。

雨や水に濡れる場所では、使用しないでください。感電の恐れがあります。

可燃性の液体、気体、または粉じんのある場所で使用しないでください。

本体にバッテリーを脱着する際は、本体の電源ボタンを ON にしないでください。スイッチを押した状態でバッテリーの抜き差しを行うと、安全および機能上重大な問題をもたらす可能性があります。

雨天時や湿気の多いときは、本機を使用しないでください。感電の恐れがあります。

揮発性可燃物、腐蝕ガスのある場所では使用しないでください。爆発の恐れがあります。



強制

ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよく理解したうえでご使用ください。

使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。

本機付近での焚き火や暖房器具の使用はおやめください。機器の故障、発火、火災を引き起こす原因となる可能性があります。



使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。特に始動時には強い反動がありますので、注意してください。

本機は必ず手で握って操作してください。本体を手以外のものに固定して使用しないでください。予期せぬ事故をまねく恐れがあります。




本機は、完全に停止するまで置かないでください。予期せぬ事故をまねく恐れがあります。

任意の調整、アタッチメントの交換を行う際は、バッテリーを外してください。



⚠注意（製品に係る安全事項）

 禁止	ゴミ、ほこりの多い場所では使用しないでください。モーターの故障の原因になります。	 強制	水平で安定している所でご使用してください。
	本機のモーターやバッテリー接続部を水洗いしないでください。故障の原因になります。		定期点検整備を行ってください。
			本機を冷ましてから保管してください。
			子供の手の届かない安全で、乾燥した場所に保管してください。



⚠警告（作業に係る安全事項）

 禁止	身体の調子が悪いときや、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。	 強制	危険を感じたり、予測される場合も、必ず停止してください。
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。		室内、トンネル内、深い溝内など換気の悪い場所では使用しないでください。
	ご使用時は、使用者から3m以内は危険です。人やペットが入らないようにしてください。		滑りにくい長靴、手袋、保護メガネ、防塵マスク、ヘルメットなどの作業に適した服装を心掛けてください。
	作業エリアには、全ての人、幼児、子供、ペット等を入れないでください。		本機から離れるときは、電源スイッチを切ってください。
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		危険を感じたり、予測されたりする場合は、作業を中断し、完全に問題を解決してから再始動してください。
	可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。		作業場は清潔に保ち、明るくしてください。汚く、暗い場所は怪我の原因になります。
	運転中は可動部に手や足を絶対に近づけないでください。触れると重大な事故の恐れがあります。		使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
 強制	本機を始動する前に、すべてのネジ類が適切に固定されていることを確認してください。		破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になることがあります。
	適切な間隔で休憩をとってください。		
	万一来備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。		
	火気の近くで運転をしないでください。		



⚠警告（充電器に係る安全事項）

 禁止	濡れた手で充電器の電源プラグの抜き差しはしないでください。	 強制	充電器の電源プラグはコンセントの奥まで確実に挿込んでください。
	交流 100V 以外は使用しないでください。		充電器の電源プラグのホコリは定期的に取り除いてください。
	電源コード・電源プラグが傷んでいたり、コンセントの挿込みが緩い時は使用しないでください。		充電器が異常に熱くなったり、異音、異臭がしたら直ちに使用を中止してください。発煙、火災、感電の恐れがあります。
	充電器を分解しないでください。		

⚠注意（バッテリーパックのリサイクルについて）

 強制	ご使用済みのバッテリーパックは、分解せずにそのまま最寄りのリサイクル協力店又は、各自治体にご確認ください。	
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRC ホームページ https://www.jbrc.com を参照してください。	

警告（バッテリーパックに係る安全事項）

 禁止	充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。
	必ず専用充電器で充電してください。
	バッテリーパックを分解しないでください。
	バッテリーパックの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。
	感電や火災の発生の恐れがあります。
 強制	使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
	周囲温度が 0℃未満、あるいは周囲温度が 45℃以上ではバッテリーパックを使用・充電・保管しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
	バッテリーパックは一般家庭ゴミとして捨てないでください。ゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火、発煙し事故の原因になる恐れがあります。
	本品はリチウムイオンバッテリーを使用しています。リサイクル可能な貴重な資源ですので、不要になった場合は下記に従いリサイクルを行ってください。

【他社バッテリー互換に関するご注意】

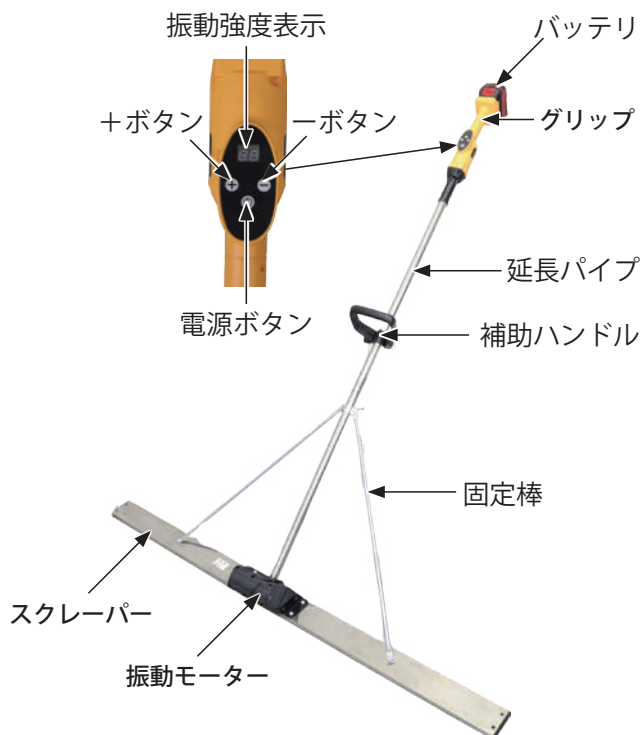
- マキタ、HiKOKI（18V）バッテリー対応可能
- 他社製バッテリーを使用した場合の動作、性能、安全性および耐久性については保証対象外となります。また、他社製バッテリーの使用により発生した故障、破損、事故、損害について、当社は責任を負いません。
- 他社製バッテリーに仕様変更があった場合は取付けできない可能性があります。
- 他社製の純正電動工具に弊社互換バッテリーを使用した場合、動作不良や故障の原因となる可能性があります。また、その場合の保証は対象外となります。

※マキタおよび HiKOKI は各社の登録商標です。

※本製品は各社と提携、公認、推奨関係にあるものではありません。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



主要諸元

モデル名	HG-ECS18V150
定格電圧	18V
定格出力	60W
モーター回転数	6000 ～ 22000min ⁻¹
スクレーパーの長さ	約 150cm
スクレーパーの厚さ	約 2cm
3 軸合成値	2.3m/s ²
振動強度	9 段階

◎弊社は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

振動障害の防止

● 1 日の使用時間について

1 日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

	① 10m/s ² より小さい場合	② 10m/s ² より大きい場合
1 回の連続作業時間	10 分以内	10 分以内
1 日の作業時間	2 時間以内	T: 1 日の最大作業時間 T=200 ÷ (a × a) a: 周波数補正振動 加速度実効値の 3 軸合成値 (m/s ²)

● 製造時の振動レベル維持のため

- 定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- 異常がある場合は速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

梱包部品一覧

- 1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
- 2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
- 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

⚠警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. グリップ	B. 振動モーター	C. 補助ハンドル
D. スクレーパー×2	E. モーター台	
F. 延長パイプ×2	G. スクレーパージョイント	
H. 固定棒×2	I. バッテリー変換アダプター★	
J. バッテリー×2★	K. 充電器★	L. 工具類
M. ネジ類		

※製造時期により部品の形状、内容物が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。
★セット品のみ同梱となります。

準備

充電の仕方

お買い上げ時には満充電になっていないので、ご使用前に必ず充電をしてください。充電器・バッテリーパックの取扱説明書も併せてご覧ください。

- 1 充電器の電源プラグをコンセントに挿込むと、右側の緑ランプが点灯します。
- 2 充電器にバッテリーパックを挿入します。
- 3 充電器の右側の緑ランプが消灯し、左側の赤ランプが点滅し充電が開始されます。
- 4 充電が完了すると赤ランプは消灯し、緑ランプは点灯に変わります。充電時間は周囲温度やバッテリーの状態(新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど)により変動します。



充電器の状態	赤ランプ	緑ランプ
コンセントに電源プラグを挿込む(スタンバイ)	消灯	点灯
充電中	点灯	消灯
充電完了	消灯	点灯

⚠注意

- 充電時間は、バッテリーの状態や温度等により異なります。
- 充電は、室温 5 ~ 45℃の範囲で行ってください。
- 充電中に、バッテリーパックや充電器が温かくなりますが異常ではありません。
- 本機使用後は、速やかに充電を行ってください。
- 長期間 (3 ヶ月以上) 充電せずに放置しないでください。

- 5 充電が終わりましたら、リリースボタンを押しながらバッテリーパックを真っ直ぐに引抜きます。



- 6 満充電になっているかバッテリーパックのインジケーターを確認します。ボタンを押して、ランプが4つ点灯すれば満充電です。





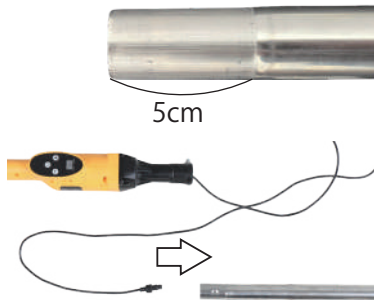
組立て

警告

- ・組立ては平坦な場所で行ってください。不安定な場所で行うと本機が倒れ、けがにつながる恐れがあります。
- ・組立作業中周囲に子供やペットが近づかないよう配慮をお願いします。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付けられていることを確認してください。
- ・バッテリーは絶対に外した状態で組立ててください。

パイプの取付け

- 1 延長パイプの先端が5cmほど細くなっている方にグリップのコードを通します。



- 2 グリップに延長パイプを挿入します。

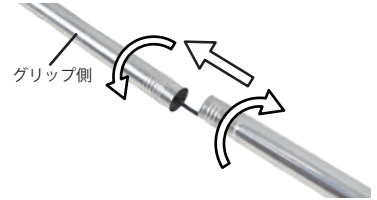


- 3 グリップにある六角ボルトを付属の六角レンチで締め、延長パイプを固定します。

注意

グリップに延長パイプを挿込むと非常に取外しづらくなります。頻繁に取外す場合は、接続部にグリスなどを塗ると取外しやすくなります。

- 4 延長パイプに通してあるコードをもう一つの延長パイプに通してから、パイプ同士を回して接続します。



振動モーターの取付け

ご用意いただきたいもの：13mm のスパナ等

- 1 図のようにモーター台座の取付け穴と振動モーターの4力所の取付け穴を合わせます。



- 2 4力所の穴に振動モーター側から短い六角ボルトを挿込み、モーター台側からナットで締めます。



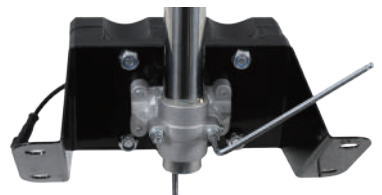
- 3 六角ボルトは付属の六角レンチで、ナットは13mmのスパナで締めます。



- 4 延長パイプをモーター台の穴に挿入します。パイプの中のコードも穴に通します。



- 5 2か所の六角ボルトを付属の六角レンチで締め、パイプをモーター台に固定します。



- 6 パイプからのコードと振動モーターからのコードを裏に配線して、裏側からコード同士を接続します。

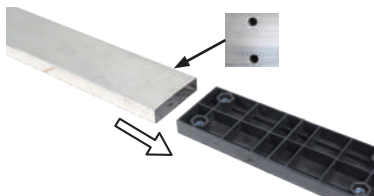


スクレーパーの取付け

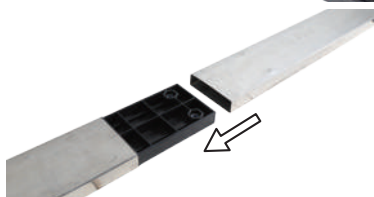
- 1** スクレーパージョイントの穴に4つの黒いナットを入れます。



- 2** スクレーパーの片側にある穴を裏にして、ジョイントに挿込みます。



- 3** スクレーパージョイントのもう片方にもスクレーパーを同じ様に挿込みます。



- 4** スクレーパーの中央にある4つの穴に振動モーター台の4つの穴を合わせて載せます。



- 5** 4つの穴に付属の長い六角ボルトを挿込んで、付属の六角レンチで固定します。



固定棒の取付け

- 1** 延長パイプの中央部に固定棒を取付けます。
固定プレートで延長パイプを挟むようにして、細長い六角ボルト、小さいナット、ワッシャで仮留めします。



- 2** 固定棒のもう一方をスクレーパーの取付け穴に合わせて、付属の短い六角ボルトを六角レンチで締めます。



- 3** 手順1で仮留めしたボルトを本締めします。固定棒の取付けは以上です。



補助ハンドルの取付け

- 1** 付属の補助ハンドルに取付けてあるノブとナットを一旦、取外します。



- 2** 延長パイプの持ちやすい位置に補助ハンドルを挿込んで、取外したノブとナットで締めて固定します。



組立ては以上です。



■取付け

⚠注意

電源ボタンを押したまま、バッテリーを取付けしないでください。怪我をする恐れがあります。



- 1 満充電にしたバッテリーパックを、バッテリーホルダに「カチッ」と音がするまで挿入します。

バッテリーホルダ



■取外し

- 1 リリースボタンを押しながらバッテリーパックを引抜きます。

リリースボタン



作業の仕方

作業の仕方

⚠注意



禁止

- 身体の調子が悪いときは、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- 動作中にスクレーパー部分の近くに足を近づけたり、足を入れないでください。
- 操作者の経験が浅い場合は、必ず経験者指導のもとで操作を行ってください。



強制

- 平坦な場所で作業を行ってください。
- 本機を1人が連続で長時間使用せずに運転員を交代したり、十分な間隔をあけて使用してください。
- 適切な時期に休憩をとってください。
- 本機から離れるときは、必ず電源を停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ず電源停止してください。
- 少しの移動でも電源を停止し、ハンドルを持って運搬してください。
- しっかりハンドルを握って操作してください。

- 1 満充電にしたバッテリーパックを、バッテリーホルダに「カチッ」と音がするまで挿入します。



- 2 電源ボタンを長押しします。

振動が開始します。
振動強度を調整するには一か+ボタンを押します。
－：振動が小さくなります。
＋：振動が大きくなります。



- 3 コンクリート面に対してスクレーパー部分を平行にしたまま、後ろにさがりながら、ならします。



- 1** ーボタンを押して振動強度を下げてから、電源ボタンを押します。振動が停止します。



⚠注意

電源ボタンの停止やバッテリーを抜いた後でも、本体を再起動した時の振動強度の設定は、停止前の設定が残っています。振動強度が強い状態で作業を停止しないで、必ず振動強度を下げてから停止してください。

- 2** リリースボタンを押しながらバッテリーパックを引抜きます。



- 3** 本体等に付着した汚れを取除き、水分を拭取ります。

- 4** バッテリーパックを満充電にします。



- 5** 長期間使用しない場合でも、1～3ヵ月に1回はバッテリーパックを充電して、保管してください。

- 6** 子供の手の届かない、安全で乾燥した場所に保管してください。

終了後のお手入れ

作業中に付着したコンクリートが硬化する前に清掃をします。

- 1** スクレーパー部分に付着したコンクリートが硬化する前に、丁寧に水洗いをします。

※詳細は WEB 取説をご覧ください。

保証内容について

2025.10 現在

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。

・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

(1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合

(2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合

(3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合

(4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合

(5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合

(6) 弊社が認めていない改造をされたもの

(7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの

(8) 注意を怠った結果に起きたもの

(9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの

(10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)

(11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)

(12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品

(13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギャ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)

(14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等

(15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。

・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。

・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。

・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合があります。

・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。

4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。

5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。